平成21年度 世界遺産登録推進担当の取組方針

世界遺産登録推進担当担当部長島田正樹は、鎌倉の歴史的遺産の世界遺産登録を目指し、本年度実現すべき緊急かつ重要な世界遺産登録推進担当の取組事項について実現に向けた取組方針を提示します。

平成 21 年 6 月 19 日

世界遺産登録推進担当担当部長 島田正樹

1 職員の意識改革

①全職員が業務目標達成に向けて共通の理解と認識を持つことを徹底します。

(内容)

全職員参加の部内会議(1回/月)、及び係長以上職員による業務打合せ(1回/週)を定期的実施し、その都度、月間、週間の業務別目標の設定や進捗状況の確認などを行うことにより、情報の共有化を促進し、全職員が業務目標達成に向けて共通の理解と認識を持つことを徹底します。

2 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

①相互チェックの強化等により適切な業務遂行を図ります。

(内容)

国史跡指定事務において不適切な事務が行われたことを十分に踏まえ、訪問記録の復命や適切な公印管理など引き続き再発防止に向けた取組の確実な実施を図るため、必要な情報の共有化を促進し、職員全員による相互チェック機能を高めていきます。

3 市民からの信頼回復

①市民と共に世界遺産登録を目指します。

(内容)

適切な周知・広報を推進することにより、市民の理解を深め、気運をさらに醸成し、市民と共に世界遺産登録を目指す取組を進めます。

4 子どもが元気に育つまち

①学習活動に活かせる取組を推進します。

(内容)

鎌倉の歴史や文化財に関する理解を深め郷土愛を育む一助としていくため、世界遺産登録の内容等を小中学生の学習活動に活かせるよう関係機関との取組を進めます。

5 高齢社会への対応方針

①高齢者の世界遺産登録活動への参加促進を図ります。

(内容)

高齢者の社会参加の促進という観点から、市民と協働する鎌倉世界遺産登録推進協議会の活動等への参加を積極的に呼びかけていきます。

6 重要な取組事項

①対象候補遺産に関する準備業務を推進します。

(内容)

対象候補遺産に関する準備業務を以下のとおり進めます。

- ・史跡の保存管理計画の策定を完了します。
- ・史跡の管理団体(鎌倉市)指定を進めます。
- ・対象候補遺産全体に係る包括的保存管理計画の策定を4縣市(神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会)と共同して進めます。

②国への推薦要請を実施します。

(内容)

登録に向けた国際的評価を得ていくため第2回国際会議を開催するなど、「推薦書原案」の熟度を高めていく検討・協議を進めたうえで、国(文化庁)に対し、ユネスコへの推薦を要請していきます。推薦要請後は、推薦書の完成に向けた取組を国(文化庁)と共同して進めていきます。

なお、これらは、4縣市(神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会)の取組として進めます。

③広報・啓発活動の充実を図ります。

(内容)

広報・啓発活動の充実を図るため以下の取組を推進します。

- ・市民と協働する鎌倉世界遺産登録推進協議会の取組をさらに充実し、登録準備活動等に関する広報・啓発活動を幅広く進めていきます。
- ・世界遺産登録に向けた取組みの周知を図るため「広報コーナー」を開設します。
- ・ホームページの充実、広報紙の活用、パンフレットの作成等により広報・啓発活動の取組みをさらに進めます。
- ・登録後に求められるガイダンス施設について検討を進めます。